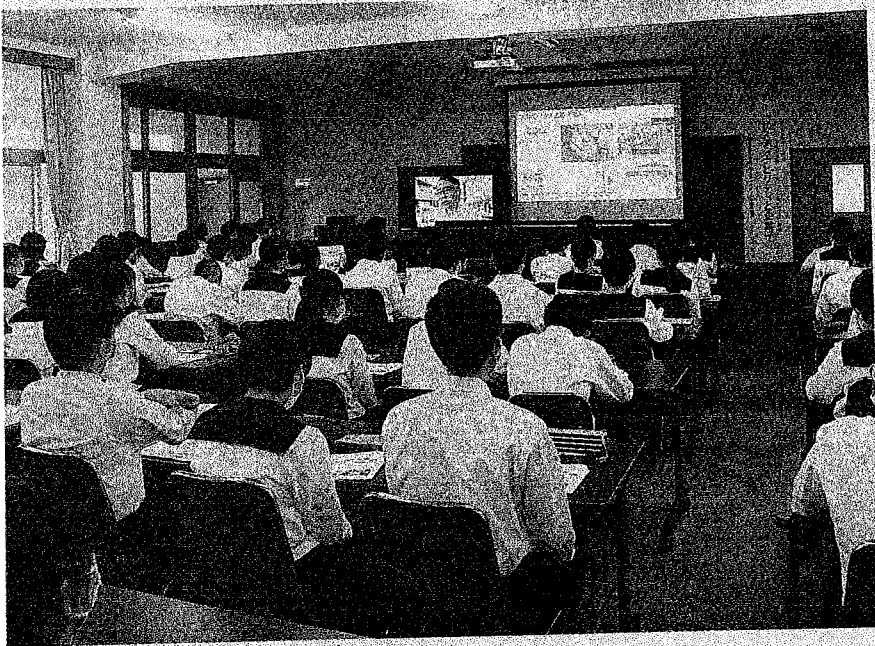


「二」に精通することが重要

2021/5/31
711

「サステナビリティと企業」 徳永さん（旭成）延高1年生に講演

文科省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている県立延岡高校（川越勇二校長、7210）は24日、旭化成サステナビリティ推進部の徳永彦彦部長を講師に、SDGs（持続可能な開発目標）に関するオンライン講演会を行った。テーマは「サステナビリティ（持続可能性）と企業、メカニカルサイエンス（MS）科の1年生79人が聴講した。



SSHは、先進的な理数系教育・体験や課題解決を重視した学習を支援する事業で、同校は昨年度指定された。科学技術を用いて、さまざまな社会課題の解決に取り組める人材を育てることが目標。今回の講演会は、1年生が今後3年間、学習に取り組むための動機付けとして企画した。

講師の徳永さんは、環境問題の解決を目指す企業活動が、経済活動と環境の共生、持続可能な社会の実現につながる」と説明。例として、旭化成グループが汚染水を浄化するLEDを開発したことを紹介し、「他の人よりも世間のニーズ（需要）にだけ精通しているかが、成功への必要条件」と、卓越性を磨くことを強調した。

「卓越性を磨くにはどうすれば良いか」という生徒の質問については、「自分の適性を見極めることは簡単ではない」と前置きしながらも「先入観を持たず、いろいろな角度から大切。自分が第一に者になる気持ちで、今後の学校生活を送ってほしい」と呼び掛けた。

聴講した友井柚于さんは「持続可能な社会の実現のため、身近にある問題から少しずつ考えていくことが必要」と刺激を受けていた。

